

伊達の国の物語

— 政宗公が目指した国づくりの真実 —



仙台城本丸跡に立つ伊達政宗公騎馬像(写真：菊地淳智)

菅野 私は仙台生まれの仙台育ちです。子供の頃から歴史が好きで、母親に連れられて古墳の発掘見学に行ったのをよく覚えています。大学では日本の中世史を学び、仙台市博物館に勤めてからは長年にわたり市史編纂の仕事に携わりました。この度「伊達の国の物語」を発刊したのは、「仙台闊歩」という雑誌の中で、政宗に関する連載記事を書かせてもらっていたことがあり、それがご縁で声をかけていただきました。カラー写真や図表をたくさん使っていますので、ぜひご覧

松井 本題に入る前に菅野先生の自己紹介をお願いします。

菅野 政宗が天下取りを狙っていたとはとても考えられません。全国制覇を狙っていたのは織田信長や豊臣秀吉のような限られた人たちだけで、戦国武将のほとんどは「自分の領地をいかに広げて繁栄させるか」に想いを馳せていたのではないかと、これが今の戦国時代研究の定説です。支倉常長のヨーロッパ派遣にしても、軍事大国スペインとの同盟で国家転覆を企てていたという説がありますが、当時スペインから日本へ船で来るのに何年かかるかわからないし、人数にも限りがあります。キリシタンをまとめて幕府を倒すと言っても、今みたいにスマホで連絡が取れるわけではないので、それは難しいでしょう。政宗は戦に強いというイメージがありますが、実はあまり勝ってはいません。政宗が急激に領地を広げることができたのは、政治力や外交力によるものだと思います。

松井 政宗公が岩出山から仙台へ本拠地を移そうとした際、政宗公は城を石巻にしようと考え、「へそ曲がりの家康は

松井 政宗公は岩出山から仙台へ本拠地を移そうとした際、政宗公は城を石巻にしようと考え、「へそ曲がりの家康は

松井 政宗公が岩出山から仙台へ本拠地を移そうとした際、政宗公は城を石巻にしようと考え、「へそ曲がりの家康は

松井 政宗公が岩出山から仙台へ本拠地を移そうとした際、政宗公は城を石巻にしようと考え、「へそ曲がりの家康は

菅野 政宗が天下取りを狙っていたとはとても考えられません。全国制覇を狙っていたのは織田信長や豊臣秀吉のような限られた人たちだけで、戦国武将のほとんどは「自分の領地をいかに広げて繁栄させるか」に想いを馳せていたのではないかと、これが今の戦国時代研究の定説です。支倉常長のヨーロッパ派遣にしても、軍事大国スペインとの同盟で国家転覆を企てていたという説がありますが、当時スペインから日本へ船で来るのに何年かかるかわからないし、人数にも限りがあります。キリシタンをまとめて幕府を倒すと言っても、今みたいにスマホで連絡が取れるわけではないので、それは難しいでしょう。政宗は戦に強いというイメージがありますが、実はあまり勝ってはいません。政宗が急激に領地を広げることができたのは、政治力や外交力によるものだと思います。

松井 政宗公は群雄割拠の時代に奥州の勢力範囲を広げて、あわよくば天下取りを狙っていたという見方があります。が、実際はどうだったのでしょうか。

菅野 政宗が仙台に城を築いた頃、石巻はまだ小さな港町で、海上交通は便利でも内陸の道から離れていました。一方、仙台は陸上交通の便がよく、塩釜や七ヶ浜、閑上などといった海の道も近くにありました。そう考えると仙台に城を築くのが必然的で、石巻に城を築くとはちよつと考えづらいですね。



仙台市博物館に展示されている仙台城本丸の模型。

松井 仙台が「杜の都」と呼ばれる理由は、武家屋敷に多くの木々が植樹されていたからだそうですね。

菅野 かつての仙台は武家屋敷の中に木がたくさん植えられ、遠くから見ると、まるで町全体が森のように見えることから「杜の都」と呼ばれるようになりました。政宗は木を植えるように指示を出していましたが、例えば建築資材や燃料などとして使えるため、木は生活に利用できる大きな財産でもありました。

松井 インフラ整備に力を入れ、藩の財政力を引き上げた政宗公の大胆な政治手腕を感じますね。

菅野 北上川がまだ暴れ川だった時代、石巻から岩手県まで船でいろいろなもの運べるようにインフラ整備を行ったことは、政宗の大きな業績のひとつです。石巻を拠点として、江戸へ大量に米を運ぶシステムができあがり、やがて仙台藩は全国でも有数の米の産地になりました。家臣が新田を開拓すればその分禄高（報酬）が上がる。仙台藩には年貢が入り、取れた米は江戸へ出荷できる。まさに二石三鳥の施策と言えます。領国の整備事業を進めるうえで、政宗は全国から優秀な人材をスカウトして、伊達家の家臣にしました。政宗が豊臣秀吉に従い、仙台藩の領地が半分減らされても人員整理はせず、むしろ新規で多くの人材を集めていたほどです。

松井 仙台が「杜の都」と呼ばれる理由は、武家屋敷に多くの木々が植樹されていたからだそうですね。

松井 政宗公の国づくりが現代の私たちに伝えているメッセージは何でしょうか。

特別対談の詳しい内容は

令和3年10月17日(日)

Date fm(エフエム仙台)

夜7時〜7時55分放送

または

宮城県民共済ホームページの「宮城の歴史さんぽ道」特設ページからも聴取いただけます。

※ホームページ内のアーカイブ(音声)の公開は、予告なしに中止することもあります。あらかじめご了承ください。



松井 政宗公の国づくりが現代の私たちに伝えているメッセージは何でしょうか。